

## 1.研修プログラムの名称

小児科・思春期科研修プログラム

## 2.研修概要（理念・特徴）

チーム医療の一員として特殊疾患を含めた研修と一般外来における小児・思春期領域の基礎知識の確立を目指した研修の両者を有機的に行えるよう配慮し、成長・発達段階にある特異性を理解し最低限の小児・思春期患者の医療を、自信を持って行えるようにする。

## 3.一般目標

将来の専門性にかかわらず、新生児と小児科の日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

新生児と小児医療の地域的な役割を理解する。

## 4.具体的目標

### 1) 経験すべき診察法・検査・手技

1. 小児の診察（生理的所見と病的所見の鑑別を含む）ができ、記載できる
2. 一般尿検査（尿沈渣顕微鏡検査を含む）の適応が判断でき、結果の解釈ができる
3. 血液生化学的検査簡易検査（血糖、電解質、尿素窒素など）の適応が判断でき、結果の解釈ができる
4. 動脈血ガス分析を自ら実施し、結果を解釈できる
5. 免疫血清学的検査（免疫細胞検査、アレルギー検査を含む）の適応が判断でき、結果の解釈ができる
6. 細菌学的検査、薬剤感受性検査、検体の採取（痰、尿、血液など）、簡単な細菌学的検査（グラム染色など）の適応が判断でき、結果の解釈ができる
7. 髄液検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
8. 超音波検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
9. 単純X線、CT、MRI検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる
10. 神経生理学的検査（脳波・筋電図など）の適応が判断でき、結果の解釈ができる
11. 注射法（皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保）、血法（静脈血、動脈血）・穿刺法（腰椎）・導尿法を実施できる

### 2) 経験すべき症候・疾患

1. 発疹、黄疸、発熱、けいれん発作、呼吸困難、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢、便秘）、関節痛、血尿、運動麻痺・筋力低下、成長・発達の障害を診察し治療に参加できる
2. 中枢神経感染症（脳炎/脳症・髄膜炎）を診察し、治療に参加できる
3. 湿疹・皮膚炎群（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎）、皮膚感染症を診察し、治療に参加できる
4. 呼吸器感染症（肺炎、急性上気道炎）、閉塞性肺疾患（気管支喘息）を診察し、治療に参加できる
5. 消化器疾患（急性胃腸炎、肝疾患）を診察し、治療に参加できる
6. 原発性糸球体疾患（急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群）・泌尿器科的腎・尿路疾患（尿路感染症）を診察し治療に参加できる
7. ウイルス感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎）、細菌感染症（ブドウ球菌、MRSA、A群レンサ球菌）を診察し、治療に参加できる
8. 全身性エリテマトーデス・慢性関節リウマチを診察し、治療に参加できる
9. 先天性心疾患を診察し、治療に参加できる

### 3) 特定の医療現場の経験

救急医療の場において、バイタルサイン・重症度および緊急度の把握・ショックの診断と治療二次救命処置（ACLS=AdvancedCardiovascularLifeSupport、呼吸・循環管理を含む）ができる

### 4) 全科共通項目

1. 診療録（退院サマリーを含む）をPOSに従って記載し管理できる
2. 処方箋、指示箋を作成し管理できる
3. 診断書、死体検案書、紹介状、その他の証明書を作成し管理できる
4. 保健・医療・福祉の各側面に配慮しつつ診療計画を作成できる

## 5.指導体制・方略

評価法

- 毎週金曜日の退院報告と月末の研修報告会（火曜日）における発表と指導医による評価
- EPOC2 による評価

研修医は病棟の3または4ミットに1ないし2人ずつ、4から8週間研修を行う。

当直は週1回行う。翌日は午前より勤務をはずれる。

外来研修

指導責任者：熊田 講師

研修中に別記の項目について講習をうけることとする

陪席予定者は前日に担当医と連絡をとりカルテのチェックを行う

外来は8時20分に集合

病棟研修中に下記の項目を行うこととする

- 1) 点滴、静脈注射、採血、腰椎穿刺
- 2) 問診
- 3) 診察
- 4) 治療計画に参加
- 5) レポート作成
- 6) グループ検討会
- 7) 骨髄像（見学）
- 8) 脳波
- 9) 腎生検（見学）
- 10) 心臓カテーテル（見学）

研修医の指導 オリエンテーション 熊田講師

外来前に陪席予定のものは前日又は外来前に連絡をとりプリントを貰い予習する

外来陪席並びにクルズスにて一般小児診療技術を学ぶ

## 6.週間予定表

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟回診 9:00～ 外来 病棟	病棟回診 9:00～ 外来 病棟	病棟回診 9:00～ 外来 病棟	病棟回診 9:00～ 外来 病棟	病棟回診 9:00～ 外来 病棟	病棟回診 9:00～ 外来・病棟
午後	13:00～ 呼吸器外来 発達外来 病棟	13:00～ 教授回診 乳児健診 病棟	13:00～ 循環器外来 発達外来 病棟	13:00～ 予防接種 外来 病棟	13:00～ 乳児健診 病棟	
夜間		18:00～ 医局会 カンファランス	グループ カンファランス 宿直	病棟 カンファランス	グループ カンファランス	

## 7.研修活動

### 8.評価

1) 自己評価

患者記録表、教育的行事の参加記録並びに経験記録表に記録する

EPOC を用いて自己評価を行う

研修事後レポートを用いて自己評価を行う

2) 指導医による評価

EPOC を用いて評価する

研修事後レポートより評価する

他者評価表を用いて評価する

研修終了時に試験を行い、振り返りをおこなう

3) コメディカルによる評価

EPOC 又は評価表を用いて評価する

他者評価表を用いて評価する

4) 研修医による評価

EPOC を用いて指導医（上級医）、診療科・病棟、研修医療機関、プログラムを評価する

評価表を用いて指導医並びにコメディカルを評価する

**9.その他特記事項**